

人のつながりを大切にし、近都心としての都市的な住む・働く・訪れる環境を充実させつつ、大川・淀川などの自然やゆとりある環境との調和が取れた、安心して暮らし続けられる、何度も訪れたくなる魅力ある都島をめざします。

6. エリア戦略(めざす将来像)

北部地域『豊かな自然とゆとりの空間』

- ＜北部地域の特徴＞
- 淀川を含め自然が豊かで公園が多い。
 - 人口密度が他地域より低い。
 - 戸建て割合が高い。
 - 人口は減少傾向、高齢世帯の割合が高い。
- ＜北部地域の将来像＞
- 大川に加え、淀川の自然を享受し、他地域よりもゆとりある暮らしを実現する地域を維持・形成
- ◆スポーツ・健康づくり・デイキャンプなど、近都心でありながら、豊かな自然と共存し、健康的に暮らせる地域
 - ◆ゆとりを感じ、落ち着いた静かな環境で住む・働く(リモートワーク等)など、郊外的な暮らしを楽しむことができる地域
 - ◆当地域の特性を発信し、その特性を好む新たな層の居住を区内外から呼び込み、コミュニティの力を維持・発展させていく



南部地域『交流と活気あふれる複合拠点』

- ＜南部地域の特徴＞
- 商業・業務機能が集積、多くの人が訪れる。
 - 各種生活利便施設が充実
 - 約7割が単身世帯で共同住宅が非常に多く、持ち家率は非常に低い。
- ＜南部地域の将来像＞
- 京橋駅周辺を中心として、商業・業務・観光等の機能の集積に加え、シンボル空間や新たな憩い・賑わい空間の創出により、交流が生まれる拠点としての更なる魅力エリアを形成
- ◆京橋駅周辺は、世界や関西広域拠点を大阪でつなぐヒガシの玄関口として、Connective City京橋として、「国際的な集客・滞在・商業空間」、「賑わい拠点」が形成される地域
 - ◆ビジネス・イノベーションの創出を図り「スタートアップ・ベンチャーエリア」が形成される地域
 - ◆駅とまちを一体化する「人中心の駅前空間・拠点」や、大阪城公園、OBPから京橋駅周辺をつなぐ「新たな歩行者ネットワーク」が形成され、ウォーカブルな空間が充実する地域
 - ◆職住近接や通勤・通学の利便性と、繁華街の賑わいや刺激を楽しむなど、若者を中心に都心的な暮らしが実現できる地域
 - ◆大川や藤田美術館などの地域資源、京橋駅周辺の飲食・遊興機能の集積などにより、インバウンドを含む観光客や来街者で賑わう地域



中部地域『自然と都市の程よい調和』

- ＜中部地域の特徴＞
- 各種生活利便施設が充実(特に子育て・福祉・高度医療は区内で最も充実)
 - 共同住宅の割合が高く、持ち家率も高い。
 - 大規模共同住宅群の緑が多い。
 - 都島駅を中心に幹線道路沿道に商業施設が多く立地
- ＜中部地域の将来像＞
- 都市的な利便性と、大川や街のみどりを中心としたさまざまな魅力を楽しむ、都市的かつ住環境が整った豊かな暮らしを実現する地域を維持・形成
- ◆各種生活利便施設が充実し、都会的なまちなみの住宅地でありながら、大川や大規模な共同住宅群の緑が多い住環境の中で、豊かな暮らしを実現できる地域
 - ◆西側には共同住宅群、東側には一戸建てが多いエリアがあり、それぞれの志向に合わせた居住の選択が可能な地域
 - ◆公園が多く地域内に点在し、関連施設等の立地も含めて子育て環境が整っており、子どもが多く活気がある地域

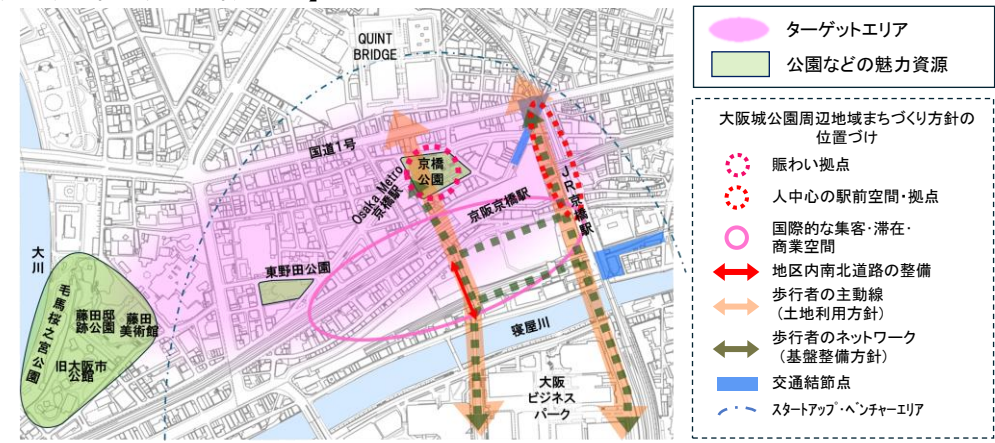


＜ターゲットエリアの設定＞

区のシンボリックなエリアとして、京橋公園を中心とするエリアをターゲットエリアとして設定する。

京橋駅南側からの歩行者ネットワークを区内に広げ、つなげていくためには、京橋公園を中心に賑わいを創出するとともに、人中心のウォーカブルな空間のネットワークの構築や、滞留空間の創出による回遊性の向上を図る必要がある。特にQUINT BRIDGEがある北側や藤田美術館などの地域資源がある西側への人の流れを促進するための取組を行う。

【ターゲットエリアのイメージ】



7. まちづくりのロードマップ

※関連計画の改定や社会情勢の変化などを考慮し、必要に応じて適宜見直しを行う

			短期		中期	長期		
年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～12年度	令和13～17年度	令和18～22年度
都島区 まちづくりビジョン			骨子作成	ビジョン 策定	具体的 取組試行	具体的取組実施		
地域 まちづくり	京橋エリア	ターゲット エリア設定	実地調査実施	社会実験 実施	具体的取組実施			
				地域連携強化 (エリマネ実現に向けて)			具体的取組実施	
	北部エリア	都島MeetsNATURE試行実施		具体的 取組試行	具体的取組実施			

8. ≪ビジョン≫と≪アクション≫の関係と、計画の構成

都島区の将来像≪ビジョン≫

北部地域

『豊かな自然とゆとりの空間』

中部地域

『自然と都市の程よい調和』

南部地域

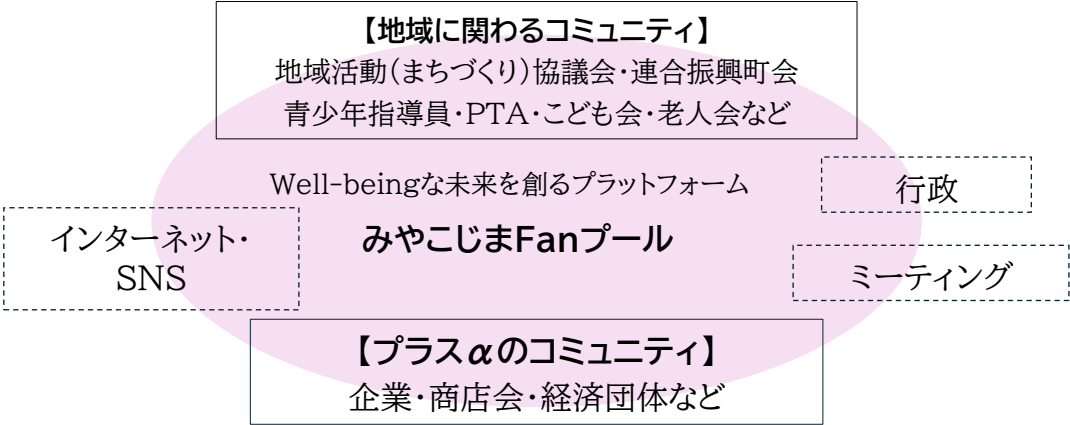
『交流と活気あふれる複合拠点』

将来像達成に向けた取組方針

- ① 地域資源の活用
- ② 魅力向上と発信強化
- ③ 「ずっと」「もっと」暮らしたいまちをみんなでつくる

取組の方向

- ① プラットフォームの構築
- ② 中間支援組織活用を検討
- ③ 地域活動の自主性や継続性を担保する地域経営取組の検討【財源】
- ④ 取組のキーとなる団体等【人材】



≪アクション≫

リーディングプロジェクト

- ・【北部】都島Meets Nature
- ・【南部】京橋公園活性化調査

実施中の取組

- ・【南部】都島区民まつり
- ・【中部】桜ノ宮ビーチフェスティバル(実行委員会形式)
- ・クリスマスmamaコムマルシェ(後援)
- ・京橋オススメ体験(商工会議所)

その他の新たな取組

- ・MIYAKOJIMA ひと×まち File
- ・みやこじま未来会議
- ・都島チャンネル文化フェス(後援)